

地域再生に企業は何ができるか

[問題提起]

中山間地域フォーラム第4回総会

村田 泰夫 (ジャーナリスト)

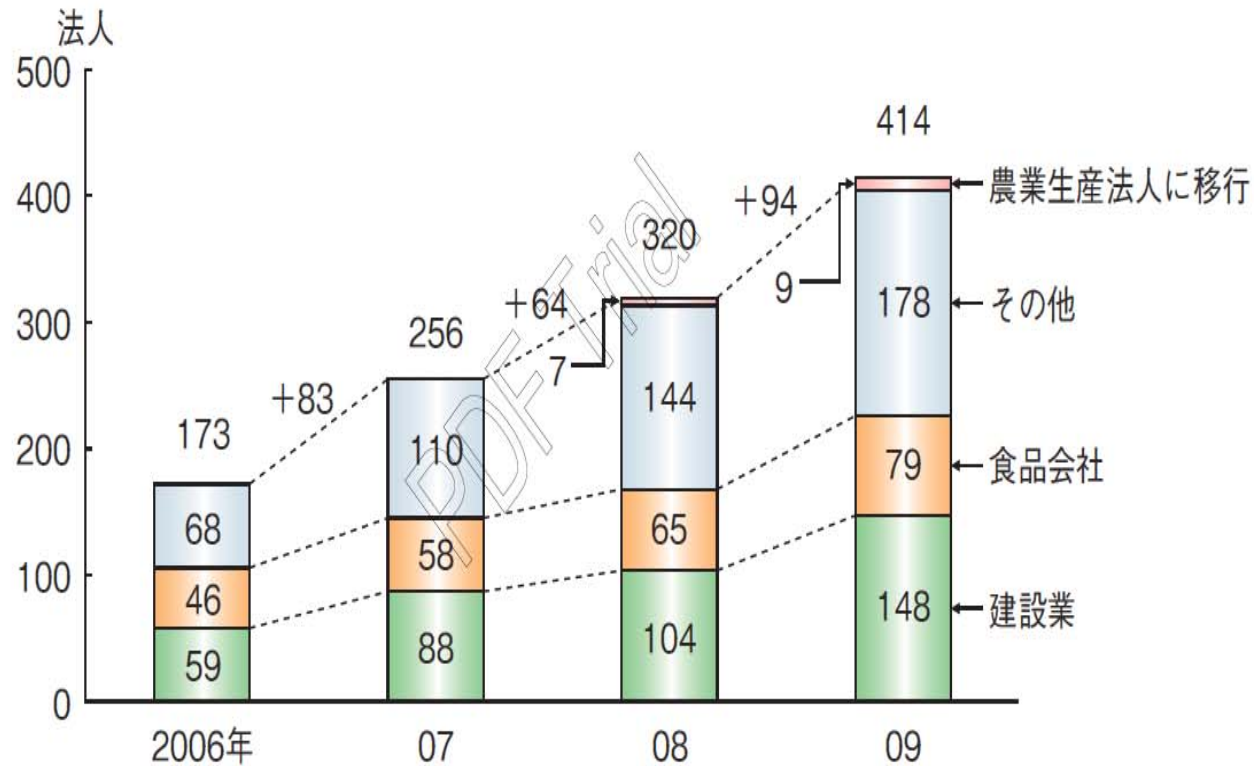
2010年7月4日

企業と農山村とのかかわり

- 企業による農業への参入
農地法による参入障壁緩和
- 地元企業による「地域おこし」
「農商工連携」「6次産業化」
- CSRによる支援活動
 - ①「企業の森」づくり
 - ②耕作放棄地再生活動
 - ③農山村の維持・再生活動

企業による農業参入の現状

図3-52 農業生産法人以外の法人の農業参入状況（農地リース方式）



資料：農林水産省調べ
注：各年9月1日現在の数値

農業参入の類型(農業白書から)

- 原料調達型 サイゼリア 2000年 福島県白河市 40ha
農業生産法人設立 農家との契約栽培
米、レタス、ルッコラ、イタリアンパセリ
- 自社農産物販売型 イオン 2009年 茨城県牛久市 2.6ha
農地賃貸による農業経営
キャベツ、白菜、レタス、ハウレンソウ、枝豆
- ビジネス維持・拡大型 住友化学 2009年 長野県中野市 1ha
農地賃貸による農業経営
イチゴ
- 雇用確保型 地元建設会社 2004年 島根県海士町 7.5ha
農地賃貸による農業経営
繁殖牛100頭、肥育牛300頭

地元企業による「地域おこし」

- 農商工連携

農林漁業者と中小の商工業者が連携

→新商品や新サービスの開発 →地域おこし

農業生産者＝こだわり農畜産物を生産、販売先探したい

商工業者＝良質な国産原料を安定的に調達したい

- 6次産業化

1次×2次×3次＝6次 相乗効果を期待

食材の提供者に押し込められては付加価値得られず

みずから2次(加工)、3次(販売・レストラン)に進出

小水力発電、バイオマスなど地域資源の活用による

新しい産業・雇用の創出とローカル・エコノミーの確立

企業の森づくり

- 林野庁による「森林づくり社会貢献活動推進事業」
国土緑化推進機構や都道府県がCSRをサポート
 - ・森づくりプログラムの作成
 - ・活動フィールド(森林)の紹介
 - ・森づくりを支援する地域組織、NPOの紹介
- 社会貢献度評価の付与
たとえば 30haの森林整備
 - 年間8340万円の多面的機能の評価額
 - 50年間のCO2吸収量5100t固定
- 地元と協定を結ぶなど継続的に活動している
「企業の森づくり」の活動箇所数
前年度より154増の947カ所（2008年度）

企業による「耕作放棄地再生」(HPから)

- NEC 「田んぼづくりプロジェクト」 2003年から
企業と過疎・高齢集落との交流による地域活性化
☆茨城県石岡市東田中地区の中山間地域
 - ・荒廃水田の復旧 谷津田の再生
 - ・40aの水田で稲作、20aの畑で大豆、サツマイモ
 - ・収穫した大豆を使った味噌づくり
 - ・地元の造り酒屋の協力で、収穫米で日本酒造り
 - ・堆肥づくり、わら加工、炭焼きなど農作業体験
- 富士電機 「やまなし企業の農園づくり」 2010年
農地の再生・社員と地域の人たちとの交流による地域活性化への貢献
☆山梨県上野原市桜井地区
 - ・耕作放棄地4aの再生
 - ・イノシシなど獣害防止の柵設置
 - ・落葉やススキを利用した堆肥づくり
 - ・小麦、アワなど在来種の栽培、収穫
 - ・ジャガイモ、ホウレンソウ、小松菜など野菜の栽培、収穫

富士電機「なごみの里づくりプロジェクト」(熊本県和水町)
荒廃した棚田20aを復旧・再生し収穫作業を終えた2009年10月



農山村の再生と企業

- アストラゼネカ(株)
「高齢化する村を応援するプロジェクト」
さまざまなCSR活動の一つ C-day
2006年から全国60カ所以上
- (株)じょうえつ東京農大
新潟県上越市の中山間地域で有機農場を経営
東京農大などが出資 2008年4月設立
- 静岡県 「一社一村しずおか運動」 2006年度から
企業と農村が協働活動をすることで、
静岡県内の農山村地域の活性化をはかる運動

CSRとは何か

- CSRとは (経済同友会「企業白書」 2003)
 - ① 企業と社会の相乗発展をめざす
 - ② 事業の中核に位置づける「投資」
 - ③ コンプライアンスを超えた自主的な取り組み
- Corporate Social Responsibility
= 「企業の社会的責任」
Responsibilityとは 責任、信頼
→ 「企業の社会的な信頼度を高める活動」

- **企業：「社会の公器」**

経済活動(商品生産やサービス提供)で社会に利益の提供
雇用の創出・環境の保全・地域社会の維持で社会に貢献

- **株式会社は「株主のもの」か**

「最終的なリスクは投資家が負うのだから、企業経営者は株主利益を最重要視すべし」=株主資本主義

だが、長期安定雇用が社会インフラになっている日本で、
従業員の雇用リスクは、投資家のリスクより低いといえず

原料調達先、納入先、顧客、地域社会、自治体など

- **ステークホルダーとのコミュニケーションが不可欠**

企業にとってCSRとは

▪ CSRの位置づけ

- ①企業ブランドイメージの向上
- ②従業員のモチベーションのアップ(職場・仕事への誇り)
- ③優秀な人材の確保
- ④競争力の向上
- ⑤長期安定的な資金の調達(社会的責任投資=SRI)

● ビジネスとCSRは不可分

「経営が順調なときにはCSRに取り組み、
苦しくなったらやめる」 ←ナンセンス

オプションな「付け足し」ではない